

## イベントカレンダー

7月	12 土	木や竹、木の実を使った工作
	13 日	水辺の生物観察会(ピオトープ)
	19 土	木や竹、木の実を使った工作
	22 火	★セミの羽化の観察会
8月	10 日	夏の昆虫観察会
	16 土	★万博公園にマイ巣箱をかけよう(3) (申込終了)
	16 土	木や竹、木の実を使った工作
	23 土	野鳥観察会 -夏の鳥をみよう-
	23 土	木や竹、木の実を使った工作
23 土	★夏の星座観望会	

水曜休館。開館時間は午前10時～午後4時まで。○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習など臨時休館：7月25～27日、8月1,2,8,9,29,30日  
★印は要事前申込です。

## めざせ森の博士!! 万博チャレンジラリー (春・夏版)



わしは森の博士。  
参加費は無料じゃよ。  
クイズを解きながら  
歩いて頭と体の運動も  
いいもんじゃ

問題用紙は自然観察学習館、各ゲートで配布しているよ。答え合わせは自然観察学習館まで。

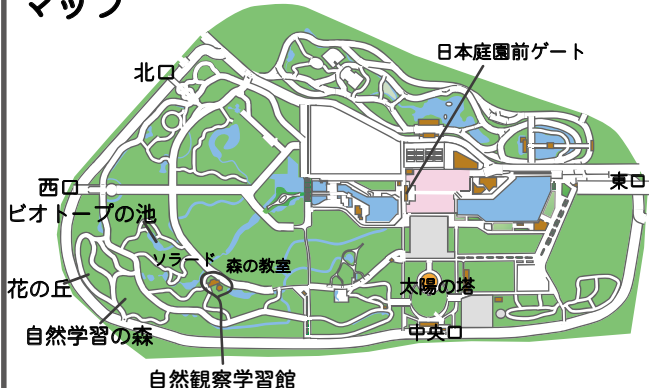
○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館までお問い合わせください。

## 予告

**カブトムシフェア開催!! 7月20日(日)10時～15時**  
万博の森で育ったカブトムシプレゼント  
(先着順150セットご用意 ただし、1家族1セットとさせていただきます)  
館内展示

夏の自然展	7/3(木)～9/1(月)	園内で見られる夏の草木、昆虫などを紹介
自立した森再生への取り組み	開催中～9/30(火)	「自立した森」再生の取り組みについて展示

## アクセス マップ



## ～編集後記～

夏がやってきました! 今年は新たな試みとして、カブトムシフェアを開催します! 今月号のカワセミだよりでカブトムシについて予習して、ぜひ自然観察学習館にお越し下さい!!

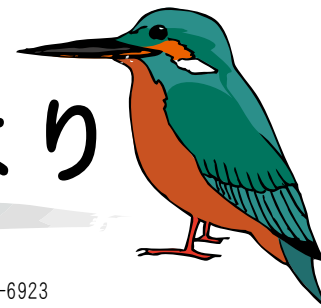
## カワセミだより Web版

万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」  
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

2014.07.01

7月号  
NO.100

# カワセミだより



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923

カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。



## 涼しげな花を咲かせる キキョウ

キキョウはキキョウ科の多年草です。北海道西南部から沖縄の当たりのよい山野の草地に生えます。園内では万葉の里で見られます。星形の花が特徴的ですが、この形になる前のツボミも独特の形をしています。

## 花と葉を見てみよう

キキョウは秋の七草のひとつで、花期は6～9月です。古くから親しまれてきた植物で品種改良が進んでおり白色やピンク色のものもあります。葉は互生し鋸歯があります。

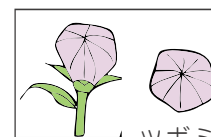


## バルーンフラワー

キキョウはツボミの状態では花びら同士がつながっています。その見た目が膨らんだ風船のようなので「バルーンフラワー」とも呼ばれます。

バルーンとは風船のこと。ぱんつと膨らんだツボミを見に行ってみよう!

鋸歯とは葉の縁がノコギリの歯のようにギザギザしている部分のことだよ。



## 秋の七草、全部言えるかな?

ハギ・ススキ・キキョウ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・クズだよ。頭文字を組み合わせると「ハスキーなおふく」や「スキなおふくは」という語呂合わせで覚えてみよう。





とくしゅう  
特集!!

ばん ぼく き ねん こう えん  
万博記念公園の

# カブトムシ

(コガネムシ科)



みんなの人気者、カブトムシ。これからの時期、園内の森でも見かけることがあるかも。今回は、カブトムシのみみつについて紹介するよ。

## 強者は夜に活動

カブトムシのエサとなる樹液は、昼よりも夜のほうが多く出ます(右図参照)。そのため、夜のほうがより多くのエサにありつけます。でもその分エサ争いも過激に。そのせいか、夜の「樹液の泉」には、カブトムシのような大きくて強い昆虫が多く集まる傾向にあります。

## 樹液は夜に多い

☀️ 昼 光合成



🌿 葉で光合成。樹液のもとを作ります。

🌙 夜



🌿 昼につくった物質の移動は夜に盛んに行われます。

## キーワードは樹液?

カブトムシのトレードマークである立派なツノ。でも、コカブトムシのように、オスでも小さなツノしか持たないものもあります(右上の図参照)。これら2種の大きな違いは「エサが樹液かどうか」。カブトムシの立派なツノは、樹液をめぐる争いが進化させたのかもしれない。

## ●大阪のカブトムシ2種

ぜひさがしてみてね。

### カブトムシ

オス

メス



・大きさ: 32~53ミリ  
・樹液だいすき

### コカブトムシ

オスでもツノは小さい(メスにも一応ツノがある)



・大きさ: 12~16ミリ  
・昆虫の死骸などを食べる  
・園内にいるかは不明

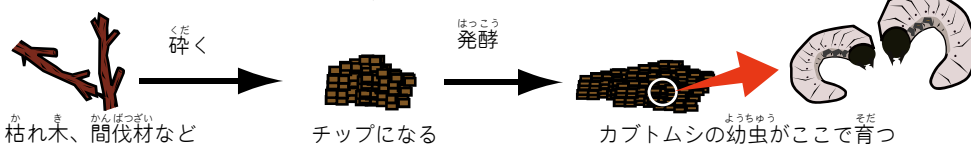
みつけたら教えてね

ちなみに園内では採集は禁止なので注意してね。



## リサイクルが育むカブトムシ

万博では、園内の森から発生する枯れ木や間伐材などを有効利用しています。すなわち、これらを砕いてチップにして、たい肥を作っているのです。たい肥は植物の土をよくする改良材としても重要ですが、じつはカブトムシの幼虫の大好物でもあります。実際、毎年このたい肥の中で多くの幼虫が育っています。自然に配慮した万博での廃材リサイクル活動が、じつはカブトムシを育むのにも役立っているのです。



## もっと自然

このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。

## 悪いナスビ? ~名前の由来~

みなさんはいかにも悪そうな名前の「ワルナスビ」という植物を知っていますか? 道端や荒地などに生える高さ30~70センチになる北アメリカ原産の多年草です。白か淡い紫色の、ナスによく似たかわいらしい花を咲かせます。そんなかわいらしさを持つ植物ですが、根茎で増え、繁殖力が強く駆除が大変です。そして葉や茎にトゲがあることと、全草にジャガイモの芽にある成分と同じソラニンという毒があり、牛などの家畜に害があることから、悪いナスビ、ワルナスビとなりました。名前の由来を調べると見た目だけでは気づかない新たな発見があります。みなさんもぜひ調べてみてくださいね。

